

令和2年第8回黒部市議会12月定例会

提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（代表・個人） 通告要旨

■提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（代表）

質問順	会 派 名 質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
1	自民クラブ 柳 田 守	<p>1 令和3年度予算編成方針について</p> <p>(1) 歳入の根幹を占める市税収入は、ここ数年大幅な減少が想定されるが、次年度以降どの程度の額を見込んでいるかを伺う。特に市民税(個人・法人)の予算見込みを伺う。また、令和2年度に合併特例措置が終了する地方交付税を含む一般財源総額の見込みを合わせて伺う。</p> <p>(2) 提案理由説明で示された重点事業として「市制施行15周年記念事業」と「東京オリンピック・パラリンピック記念 健康ステップアップ事業」を挙げられたが、その意図及び事業内容等を伺う。</p> <p>(3) 優先課題推進事業として、「健やか・展やか・朗らか黒部の創造事業」のほか「ウイズコロナ・アフターコロナ対策事業」を挙げられたが、コロナ対策事業の具体的な事業内容等を伺う。</p> <p>(4) ハード事業経費は、夏期レビュー総括協議で「実施すべき」との評価のあった43事業は示された額の範囲内、その他のハード事業はマイナス20%のシーリングを設定された。「実施すべき」とされた事業の主なものは何かを伺う。また、去る10月から11月にかけて行われた各自治振興会の地区要望とどう整合されるのか合わせて伺う。</p> <p>(5) 厳しい財政状況下の中においても、将来にわたり本市の活力を維持・発展させるために引き続きの財政健全化への取組と地域経済の活性化に向け、必要な投資が極めて重要であると考えているが、これらについて具体的な施策やその方向性について伺う。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p> <p style="text-align: center;">市 長</p> <p style="text-align: center;">市 長</p> <p style="text-align: center;">市 長</p> <p style="text-align: center;">市 長</p>
		<p>2 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 英国でコロナワクチンが承認され、米国やEUも年内に承認されるといわれるワクチンは、早ければ来年3月頃から6月頃までに国内においても接種可能になるといわれている。また、ワクチンを国の費用負担で無料提供する改正予防接種法が12月2日に成立した。本市でのワクチン接種の際は、簡便に接種可能となるよう地区公民館の利用など市民一人ひとりに寄り添った接種方法が必要と思うが如何か。</p> <p>(2) コロナ禍の中、社会的弱者に対して切れ目のない福祉サービスの提供が今まで以上に必要と思うが如何か。</p> <p>(3) コロナ禍により疲弊し、雇用の維持が危ぶまれる産業に対して、各種産業振興策を講じるとともに補助金、給付金、公共料金減免等で経営の下支えが必要と思うが如何か。</p>	<p style="text-align: center;">市民生活部長</p> <p style="text-align: center;">市民生活部長</p> <p style="text-align: center;">産業経済部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
1	自民クラブ 柳田 守	<p>3 市民病院新改革プランについて</p> <p>(1) 平成28年度に策定された黒部市民病院新改革プランは、本年度末に5カ年計画の最終年度を終えるが、新たな「改革プラン」の策定について、時期及びその方向性を伺う。また、新型コロナウイルス感染症が拡大を続ける今、県内累計感染者数は、12月7日現在462人、幸いにも本市の累計感染者数は7人(対県比1.5%)と感染拡大の兆候は見られませんが、市民病院は地域住民にとって「最後の砦」です。引き続きコロナ禍が改革プランにどのような影響を与えるか合わせて伺う。</p> <p>(2) 本年8月、令和元年度の点検評価実績が公表された。全体として院長をはじめとする職員の皆様の並々ならぬ努力を感じる内容であった。ただ、基準以下の「C」と自己評価された「材料費対医業収益比率」及び「看護師の確保」の項目は、それぞれ気になる内容である。特に目標数330人とする看護師が314人に止まる現状をどう捉えておられるか伺う。</p> <p>(3) 市民病院は救急医療、高度医療等地域の基幹病院としての役割を担い、また新川医療圏の拠点病院として数多くの医療提供を求められている。一方、公立病院として健全経営の確保も重要な指標であることは論を俟たない。しかしながら例えば入院日数等において、もう少し市民に寄り添った対応ができないのかとの声もあると聞く。新たな「改革プラン」の策定時において、これらの両立を含め検討する必要があると思うが如何か。</p>	<p>病院長</p> <p>病院長</p> <p>病院長</p>
		<p>4 成人式について</p> <p>(1) 去る11月27日に開催された公民館長・主事会議の場において、本年度の成人式は明年1月10日(日)にコラーレで開催。新型コロナ対策に万全の体制を取りつつ、例年どおりの規模で行うと説明されたと聞く。新成人にとって成人式は人生一度限りのセレモニーであるとは理解するが、例年880名強の定員のホールがほぼ満席になる状況で、どういうコロナ対策を講じ開催される予定か伺う。</p> <p>(2) 令和4年(2022年)4月1日に改正民法が施行され、同日付けで2004年4月2日生まれまでの18歳、19歳、20歳までの3学年にわたる方々が成人年齢に達する。法律上の成人と成人式は必ずしも一致するものではないと理解するが、今後の本市の成人式開催に係る考え方や方向性、決定の時期等について伺う。</p>	<p>教育長</p> <p>教育長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
1	自民クラブ 柳田 守	<p>5 「黒部ルート一般開放の早期実現」と「桜井高校看護学科の新設」について</p> <p>(1) 新知事に期待することは。</p> <p>(2) 昭和38年(1963年)の黒部ダム、黒四発電所の完成から約55年、発電所建設の許可条件であった黒部ルートの一般開放は、歴代知事や国会議員、県会議員の先達の強い思いも関西電力の厚い壁にはね返され続けてきた。これに石井前知事が風穴を開け、平成30年富山県と関電との間で黒部ルート(樺平駅・黒部ダム駅間)の一般開放・旅行商品化について協定を交わし、関電が安全対策工事を行い、2024年には概ね年間1万人以上の方が宇奈月温泉、樺平、黒部ダム、立山駅あるいは信濃大町までの一気通貫する旅行商品が可能となり、黒部市・新川地域の発展・活性化に欠かせない一大事業になると考える。しかし、協定の当事者である社長と知事が退任した今、協定は当然順守すべきものであるが、安全工事も遅れがちとの風評も耳にする。新知事への要望も含め、市長の考えをお聞きしたい。</p> <p>(3) 看護師不足は市民病院に限らず、新川医療圏の各医療機関において喫緊の課題であると考え。過去にも新川地域に看護師養成機関の新設をと、新川地域推進協議会等で県に強く要望してきたが、未だ実現に至っていない。コロナ禍が拍車をかける現在の看護師不足に対応するため、合わせてこの地域の若年層の就職による県外流出を少しでも食い止めるため、県において桜井高校に看護学科を設置し、卒業後准看護師資格を取得、次いで専門学校等を2年終了し看護師国家試験を受験合格後、新川医療圏の各医療機関で働いていただき、看護師不足の解消を図れないかとするものである。新知事への要望を含め、市長の考えをお聞きしたい。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	自民同志会 柴 沢 太 郎	<p>1 令和3年度 予算編成方針について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染拡大による影響から、全国の自治体で市税収入の減少や社会保障関係経費の増加による財源不足が大きな課題となっている。本市においても同様であり、市税収入をはじめとする歳入がしばらく回復しないことも想定される。そこで、令和3年度税収見込額、並びに、市税のなかで数年にわたり大幅な減少が見込まれる税目について伺いたい。</p> <p>(2) 市長提案理由説明において、厳しい財政状況のなか歳出削減の対策は示されているが、その反面、歳入確保を図るための方針(自主財源の確保)等の検討がなされているのであれば伺いたい。</p> <p>(3) コロナ禍における市民ニーズの変化により、直近に行われた知事選の世論調査を鑑みても、重視して欲しい政策として「医療・介護・福祉」「景気・雇用対策」といった新型コロナウイルス感染拡大防止対策や、疲弊した地域経済の再生・回復の対策を考える方が多くいることが受け取れる。これは全国各地においても同じ傾向であり、本市においても同様であると考え。これらを踏まえ、国難ともいえるコロナ禍の状況において、令和3年度予算編成方針において重点事業、優先課題推進事業とする考え方について伺いたい。</p> <p>(4) 「経済財政運営と改革の基本方針2020」に、「新たな日常」の実現のための「5つの柱」の主な施策項目と、多くの細部に渡る項目が示されているが、とりわけ市長提案理由説明にある「新たな日常」の実現のための「新しい働き方・暮らし方の促進」とは、具体的にどのようなことを想定し推進していくのか伺いたい。</p> <p>(5) 「経済財政運営と改革の基本方針2020」において激甚化・頻発化する災害への対応について示されているが、本市においては過去に発生した災害の事例から、風水害のリスクが高いことが考えられる。防災・減災、国土強靱化に関する2021年度からの新たな5カ年計画について、20年度第3次補正予算案に盛り込まれることが報じられているが、本市において老朽化したインフラのメンテナンスや浚渫事業など重要課題への対応について伺いたい。</p> <p>(6) 9月定例会で決算特別委員会が設置され、令和元年度の決算審査を行い、決算特別委員会から大きく2点「市税等の徴収について」「市民ニーズを反映した行政サービスの充実と健全財政の推進について」を要望させて頂いたが、令和3年度予算編成への反映について伺いたい。また併せて、委員から個別に多くの意見がでたなか、如何なる点に留意し、予算編成及び事業の遂行に努めるのか伺いたい。</p>	<p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>都市建設部長</p> <p>総務企画部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	自民同志会 柴沢太郎	<p>1 令和3年度 予算編成方針について</p> <p>(7) 9月定例会、自民同志会、中野議員の代表質問でGoToキャンペーンのひとつであるGoToトラベル事業に対する本市における経済効果の有無や、「がんばる黒部」プレミアム観光クーポン事業で期待する経済波及効果並びにその数値について問わせて頂いた。また、GoToイート事業も10月から実施され12月1日にポイント付与が終了したが、これら事業の効果で関連する業種の経済回復の話を耳にするようになった。そこで、市内主要施設での入込状況や経済状況について、前年度対比の数値も踏まえて伺いたい。</p> <p>(8) 本年度、コロナ禍においてメディア・リテラシーを非常に考えさせられる1年になったと考える。本市においてもフェイクニュースや不確定な情報が拡散したり、特定のメディアによる偏った報道や、市民がどのメディアからどの情報を得たかにより、世論が左右されてしまう状況にあったと考える。そこで、本市の産業構造・地域の実情を考慮し市民への正しい情報発信が必要であると考え。現在、様々なメディアで論じられているGoToキャンペーンの継続・一時停止について、併せて、本市の新型コロナ感染拡大防止策と社会経済活動の両立について自治体経営の観点から見解を伺いたい。</p> <p>(9) 女性の活躍推進について。平成30年に行われた黒部市長選挙で、市長においては「女性の活躍推進」を公約に掲げておられた。また現在、富山県においても新知事が初の女性副知事に前向きであるとのこと話題にあるが、そこで、本市におけるこれまでの女性の活躍推進の取組及び実績について、そして黒部市政初の女性部長の有無について市長に見解を伺いたい。</p>	<p>産業経済部長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	自民同志会 柴沢太郎	<p>2 デジタルトランスフォーメーション (DX) の推進について</p> <p>(1) 2018年、経済産業省から「ITシステム「2025年の崖」の克服とDXの本格的な展開」が公表された。また昨年末、デジタル・ガバメント実行計画が閣議決定され2019年12月20日から2025年3月31日までが対象期間となっている。withコロナ・afterコロナ時代を見据えてデジタル・ガバメントの実現は喫緊の課題である。本市においても多岐に渡る分野においてデジタル化の取り組みは急務であり、デジタル・ガバメントの実現及び、デジタルトランスフォーメーション (DX) を推進すべきであると考えているが本市の見解を伺う。</p> <p>(2) デジタルデバイド対策はもとより、デジタル・ガバメント実行計画の全般から、若い世代から高齢者の方々まで、多くの人々がデジタル技術の恩恵を受けられるよう、利用者が「すぐに使えて」、「簡単」で、「便利」なサービスを追求する熱意が伝わってくる。そのためにも、提供者の視点ではなく、利用者の視点や民間の目線に立つことが必要である。現在、政策課題と技術をマッチングさせるために、全国の自治体で民間のIT企業から専門家を登用している例もあり、また今後、デジタルに関する知識を持った職員を育成することも重要になってくる。そこでデジタル化を進めるうえで、IT人材の育成・確保・採用について市長より見解を伺いたい。</p> <p>(3) デジタル化を進めるうえで、公的な本人確認ツールとして基盤となるマイナンバーカードであるが、10月28日現在、全国の普及率は21.7%、2759万7000枚との報道発表があり依然低調な状況にある。また本年9月より、マイナンバーカードの普及促進、官民キャッシュレス決済基盤の構築を目的とするマイナポイント事業が実施されているが、当事業の効果によって本市のマイナンバーカードの普及率はどのように推移しているのか。また併せて、本市の取得促進の取組・計画について伺いたい。</p> <p>(4) 現在、各種メディアで、押印廃止を中心に行政の無駄を省くことが取り沙汰されているが、デジタル・ガバメント実行計画で「行政機関が作成する添付書類の省略に向けた検討状況について調査を行い、その結果を踏まえて、更なる添付書類の省略を推進する」とある。特に、住民票の写し等は、約1000種類以上の国の行政手続において提出を求めることとなっており、年間約7000万件(平成30年)が発行されている状況にある。そこで、デジタル・ガバメント実行計画にある「省略が検討されている添付書類」について、本市の発行部数ならびに発行に要している事務作業時間について伺いたい。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	自民同志会 柴沢太郎	<p>2 デジタルトランスフォーメーション (DX) の推進について</p> <p>(5) 以前より、LINEを活用した行政サービスのデジタル化・行政手続きの効率化が行われているが、2021年春を目標にマイナンバーカードを用いた公的個人認証サービス(JPKI)対応をスタートさせるとのことである。2020年3月末現在、LINE利用者数(国内MAU)は8400万人以上であり、「使い勝手がいい」「便利」という理由から、黒部市民でも多くのユーザーがいることが想定できる。AIチャットボットによる自動応答サービスの提供や、一斉配信による市政情報の発信なども可能であり、提供者や利用者にとっても便利なツールである。そこで、行政サービスのデジタル化においてLINEを利活用することを検討すべきではないかと考えるが見解を伺いたい。</p> <p>(6) 防災・減災・緊急情報でのLINEの活用について。今後、戸別受信機が市内世帯の希望者に配布されることになるが、導入の計画がなされた当時と現在では様相が異なり、技術の急速な進化、新たなアプリの開発や機能の充実、また、スマホ所持者の増加によって携帯端末を利用したツールのほうが、利用者にとって情報を得るために便利なものになっている。また、防災ツールとして一番重要なことは、多くの人々が「常に携帯しており、情報を得られる端末」であることがあげられる。そこで防災・減災・緊急情報でLINEを利活用すべきだと思えるが見解を伺いたい。</p> <p>(7) (仮称)くろべ市民交流センターにおけるデジタル技術の活用について。2023年の開館に向けて、図書館の管理運営計画、基本設計が示されているが、現在、アナログ時代からデジタル時代への大きな転換期に位置しており、将来を見据えて、当施設がアナログ時代のレガシーとなってしまうと考える。優先的にオンライン化を推進すべき手続や、今後、政府より地方公共団体のデジタル化へ向けた指針などが示される可能性もあり、また、図書貸出の利便性を考慮しても、出来る限りの最新のデジタル技術を活用して市民ニーズに応えるべきだと思えるが本市の見解を伺いたい。</p>	<p>総務企画部長</p> <p>防災危機管理統括監</p> <p>教育部長</p>

■提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（個人）

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
1	谷村一成 (一問一答方式)	<p>1 持続可能なまちづくりについて</p> <p>(1) 本市では平成22年に最上位計画である「黒部市総合振興計画」に即し、将来のまちづくりに関する長期的な指針となるものとして、「黒部市都市計画マスタープラン」を策定しました。この計画は20年後の都市の将来像を展望した上で策定し、具体の整備については概ね10年として目標設定をしているが、改めて本市のまちづくりの基本方針と10年を経過した今、計画から見た現状について伺う。また、今後10年を見据えた一部改正の考えはあるのか。</p> <p>(2) あいの風とやま鉄道黒部駅周辺都市施設整備事業では、東西連絡自由通路の整備を中心とした黒部駅西側での駅西広場及び駅西駐車場等の整備を行うこととしており、最短で令和5年度に工事着手を考えている。駅西周辺には国道8号が通っており、またPLANT黒部店も建設され、令和4年には道の駅「KOKOROくろべ」や温泉施設のオープンも予定している。今後は、駅西側の利便性向上が期待できることから、東西連絡自由通路の整備効果を十分に発揮させるためにも、駅西側の用途地域の指定のない区域いわゆる白地地域に対し本市として計画的な整備を検討すべきと考えるが。</p> <p>(3) わが国では、平成26年8月に都市再生特別措置法が一部改正され、行政と住民や民間事業者が一体となったコンパクトなまちづくりを促進するため、立地適正化計画制度が創設された。本市では、平成30年3月に黒部市立地適正化計画を策定したが、この計画を策定するにあたって本市のまちづくりの基本となった考え方について伺う。</p> <p>(4) 国土交通省では、コンパクトシティをめぐる課題として「一極集中ではなく多極ネットワーク型のコンパクト化を目指す」「全ての人口の集約を図るものではない」「強制的ではなく時間をかけながら誘導による集約化を推進」をあげているが、本市ではその点をどのように考慮しているか。</p> <p>(5) 黒部市立地適正化計画は、各分野の計画との連携もたいへん重要と考えるが、その中で①黒部市地域公共交通網形成計画、②黒部市地域防災計画との連携について伺う。</p> <p>(6) 立地適正化計画区域内には居住誘導区域の設定がされているが、居住誘導区域外への目配り等について、今後本市としてどのように考えていくのか伺う。</p>	<p>都市建設部長</p> <p>都市建設部長</p> <p>都市建設部長</p> <p>都市建設部長</p> <p>都市建設部長</p> <p>都市建設部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
1	谷村一成 (一問一答方式)	<p>2 観光交流拠点について</p> <p>(1) 令和元年度牧場事業会計決算における歳入では、一般会計繰入金が100,695(千円)と1億円を超えた。前年平成30年度の74,416(千円)から見ても、26,279(千円)の増、前年対比135.3%となった。今年度の予算においても一般会計繰入金は1億円超の103,000(千円)である。特に今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、大変厳しい経営状況であると思われる。今年度の見通しと来年度の予算化における考え方を伺う。</p> <p>(2) 今年3月定例会の柳田議員の一般質問に対する答弁では、経営診断の報告書では、特にふれあい事業の抜本的改善による牧場の観光資源を活かした様々な仕掛けや企画を行うことで、令和5年度以降は健全経営も可能であるとの報告を受けているということでしたが、その健全経営に向けて今後の取り組みとして具体的にどのようなことを計画しているのか伺う。</p> <p>(3) 本市は宇奈月温泉スキー場の利用者数が低迷している状況から、宇奈月温泉スキー場検討委員会を設立し、スキー場のあり方について検討してきた。検討委員会の中で、1シーズンあたりの利用者数の目標を7,500人に設定し、令和2年度の営業終了後に目標が達成されなければ本市として存廃を判断するということであるが、今年度の利用者数は新型コロナウイルス感染症の影響が懸念される場所であるが、その状況をどう考慮し判断されるのか伺う。</p> <p>(4) 宇奈月温泉スキー場の存廃が大変気になる場所ではあるが、スキー場は大原台地域の観光資源としての魅力を売りとして、数年前よりグリーンシーズンの利用を促進し、通年利用の観光施策として活用できる可能性があると課題認識されているが、未だ方向性が見えていない。もっと積極的に検討していくべきでは。</p>	<p>産業経済部長</p> <p>産業経済部長</p> <p>産業経済部長</p> <p>産業経済部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	小柳 勇人 (一問一答方式)	<p>1 身近な健康増進について</p> <p>(1) 高齢者のフレイル対策の現状について、市、黒部市社協、地区社協、地区公民館など、それぞれの役割と現状について。</p> <p>(2) 予防接種法の改正により、来春には新型コロナウイルスの予防接種が可能となった。予防接種後の社会において、高齢者の外出機会の創出が期待される。現在の考え方と予算編成方針について問う。</p> <p>(3) 予防接種には、定期接種と任意接種がある。定期接種の接種率とその効果について問う。</p> <p>(4) 定期接種は、ここ数年で種類が追加されてきた。追加された理由、周知方法、接種率の把握方法等について問う。</p> <p>(5) インフルエンザの予防接種について、今年度は国の臨時交付金が活用され県と市の事業で中学生以下は無償にて接種可能となった。一方で、65歳以上の高齢者は各自治体の施策により補助事業となっている。高齢者と若年層、それぞれの接種目的、期待される効果について問う。</p> <p>(6) インフルエンザの予防接種について、今年度は国の臨時交付金が活用され県と市の事業で中学生以下は無償にて接種可能となった。一方で、65歳以上の高齢者は各自治体の施策により補助事業となっていることを踏まえ、来年度以降のインフルエンザ予防接種への考え方について問う。</p>	<p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	小柳 勇人 (一問一答方式)	<p>2 黒部市の財政課題について</p> <p>(1) 夏期レビューの結果、総括協議を行った結果、設定した額の範囲内となったハード事業43事業の特徴について、代表質問でも取り上げたが改めて問う。</p> <p>(2) 黒部市として、市税について数か年にわたり大幅な減少を見込んでいる。この影響により事業の平準化を検討した事業の特徴とその理由について問う。併せて、大型事業である、道の駅「KOKOくろべ」と(仮称)「くろべ市民交流センター」の事業化において、その影響を検討されたかどうか、および検討の内容について問う。</p> <p>(3) 合併地域振興基金はあるものの、市町村合併による特例措置が終了しさらに厳しい財政環境と黒部市は判断されている。事業の選択と集中、持続可能な地域、ワイズスペンディングを進めるためにも市民に対してどのように周知していくのか、具体的な方法について問う。</p> <p>(3-1) 将来負担率、実質公債費比率は、国が示す財政健全化の指標となる。この二つの指標ともに一定の基準となるが、人口動態が変化していく中、毎年予算額の変動することに対してどのように考えるかを問う。</p> <p>(3-2) 進行中の市単事業や県事業の黒部市負担については債務負担行為の枠外と認識している。世代間の負担と給付のバランスを進める上で、毎年予算書では表面化しにくい内容についての認識を問う。</p> <p>(3-3) 事業の選択と集中、持続可能な地域、ワイズスペンディングを進めるためにも市民に対してどのように周知していくのか、具体的な方法について問う。</p>	<p>総務企画部長</p> <p>市長</p> <p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
3	橋本文一 (一括方式)	<p>1 農業について</p> <p>(1) 「人・農地プラン」について農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加などで将来への展望が描けない地域が増加してきている中で、農地の集積・集約化「人・農地プランの実質化が求められている。市として現状はどうか。また、今後の取り組みはどうか。</p> <p>(2) 農業経営には、自然災害による収量減少や市場価格の下落をはじめ、様々なリスクがある。リスクに対し、自ら備えるという意識を高め、保険を利用することが重要である。公的保険である、収入保険や農業共済の加入状況はどうか。また、市としての支援はどうか。</p> <p>(3) 品種登録された農作物の種取りを禁止する種苗法改正案が衆参両院で自民党、公明党などの賛成多数で可決・成立した。同改正法には、育成者権の乱用を防止する規定はない。育成者権のみが強化され種苗会社の力が強くなれば、企業による種苗の支配が強まることになる。農作物の種取り禁止は、農業者の権利を奪い、種苗の単なる利用者・消費者にするもので、農業の多様性や生産者の創造性を奪うことになりかねない。承諾料の支払いを求められ、農家の負担が増えることが明らかであると思うが、市として改正種苗法に対する考えはどうか。</p>	<p>産業経済部長</p> <p>産業経済部長</p> <p>産業経済部長</p>
		<p>2 道の駅KOKOくろべについて</p> <p>(1) 道の駅KOKOくろべの開業予定まで1年半を切る中で、隣接地に大型商業施設プラントが開業した。プラントの生鮮食料品の品ぞろえは豊富で、道の駅KOKOくろべの農産物直売所と競合する部分が多い。市はこれまで新幹線黒部宇奈月温泉駅前や市役所前で道の駅の開業を見据えイベントを行ってきたが、市としての感触をどのようにとらえているか。市として今後の農産物直売所の取り組みについて改めて伺う。</p> <p>(2) 9月議会で誘致ゾーン事業用地の賃貸契約について質問をした。答弁では、「今年の1月31日に光陽興産と「基本協定」を締結し、現在、用地に係る所要の手続きを進めており、光陽興産の整備計画の進捗を見ながら、賃貸契約を締結する予定」とのことであった。聞くところによると、賃貸契約は温浴施設開業時に締結するとのことであるが本当なのか。基本協定はどうか。事実ならば、なぜそうなのか。</p> <p>(3) これまで誘致ゾーンの埋め立てや整備は事業者が行うとのことであったが、現在では、埋め立てなどが行われるように見受けられるが、どうか。</p>	<p>産業経済部長</p> <p>都市建設部長</p> <p>都市建設部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
3	橋本文一 (一括方式)	<p>3 医療機関の「緊急包括支援交付金医療分」について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症対策として国が設けた総額約3兆円の「緊急包括支援交付金医療分」をめぐって、医療現場に届いた額は10月末時点でも全体の2割にも満たない5200億円にとどまっていることが、厚生労働省からの資料から判明したと報道された。多くの医療機関がコロナ禍で経営悪化し「すでに借金潰けだ」と悲鳴があがっており、迅速な交付が求められている。黒部市民病院をはじめとして、市内医療機関の実態はどうなのか。交付が遅れているならば国に対し、診療報酬を前年度実績で支払う「概算払い」を行うよう求めていくべきではないかと思うが、どうか。</p>	病院事務局長
		<p>4 核兵器禁止条約について</p> <p>(1) 2017年7月に国連で核兵器禁止条約が採択された。条約の採択は、核兵器廃絶に向け歴史的な一歩を踏み出し、条約発効に必要な50カ国・地域の批准を達成した。史上初めて核兵器を違法化する国際条約が2021年1月に発動する。歴史的快挙によって核兵器廃絶をめざす取り組みは、新たなステージにはいった。しかし、唯一の戦争被爆国でありながら、核兵器禁止条約に背を向け続けている日本政府に対し、国内外から失望と批判の声が相次いでいる。世界と日本の多数の声にこたえ、速やかに条約の署名・批准をすべきである。核兵器禁止条約について、市長の所見を伺う。</p>	市長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	成川正幸 (一問一答方式)	<p>1 ジオパークを生かした教育旅行の推進について</p> <p>(1) 県内実施となった本市の中学校修学旅行の成果を伺う。</p> <p>(2) 本市を訪れている学校などが行った教育旅行の実績など、把握されているのか伺う。</p> <p>(3) ジオガイドが同行する教育プログラムの現状とツアー実績はどれだけあるのか伺う。</p> <p>(4) 民と官、ジオパーク協会が連携したPRや受け入れ体制を強化する必要があると考えるがどうか伺う。</p>	<p>教育部長</p> <p>産業経済部長</p> <p>教育部長</p> <p>市長</p>
		<p>2 自治体ランキング指標から見るカルチャー振興施策について</p> <p>(1) 移住定住施策も含めて、まちづくり施策策定の際にランキング指標が自治体の特徴、強み弱みを見る上で参考になるのではないかと思うが、自治体ランキングに対する考えを伺う。</p> <p>(2) こういった外から見た強み弱みは、全庁的に情報共有しておいた方が良いと思うが考えを伺う。</p> <p>(3) 本市の暮らし満足度向上のためのカルチャー振興施策についての考えと今後の取り組みを教育部長に伺う。</p>	<p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p> <p>教育部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	成川正幸 (一問一答方式)	<p>3 コロナ禍における自殺対策施策について</p> <p>(1) 現在までの自殺者増加の報道をどのように感じているのか伺う。</p> <p>(2) 自殺対策の事業内容とそれぞれの進捗状況を伺う。</p> <p>(3) 私たちが本当に守るべきは、身体的にも、精神的にも、経済的にも、より弱い立場にある方々で、命を守る事こそが一丁目一番地です。「黒部市民は、大丈夫です。安心してください」と自信を持って言える取り組みをお願いしたい。自殺防止対策について市長に見解を伺う。</p>	<p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市長</p>
5	辻靖雄 (一括方式)	<p>1 人口減少下における小学校再編について</p> <p>(1) 平成24年度の「黒部市立小中学校再編計画」は消滅したのか。</p> <p>(2) 過去の小学校再編のポイントはどこにあったのか。</p> <p>(3) これからの再編に複式学級は影響されるのか。</p> <p>(4) 適正規模に見合った学級数は。</p> <p>(5) これからどのような工程で進めようとするのか。</p>	<p>市長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
6	中野得雄 (一問一答方式)	1 有害鳥獣被害の現状と、獣肉加工施設の現状と来年度計画等について (1) 直近の「熊」出没数と被害状況はどのようになっているのか伺う。 (2) 今年、小学校付近に出没した「熊」への対応についての反省点・教訓があれば伺う。 (3) 「熊」発見状況時に、広域消防と連携しドローンを用いた追跡調査を導入しては如何か伺う。 (4) 本年度、獣肉加工施設におけるイノシシ肉の出荷量と来年度で終了予定である補助金について、施設運営にかかる影響について伺う。 (5) 猿害についての住宅被害に見舞金制度を導入出来ないか伺う。	産業経済部長 教育部長 産業経済部長 産業経済部長 産業経済部長
		2 高齢者に優しい除雪体制と機械除雪業者に対する助成について (1) 高齢者の方等、どうしても自力で除雪が出来ない方へ支援すべきと考えるが如何か。 (2) 暖冬時に、機械除雪業者への機械管理費の補助は出来ないのか伺う。	都市建設部長 都市建設部長
		3 宮野運動公園及び富山県北方領土史料室の現状と今後の計画について (1) 宮野運動公園の桜について、今年度実施した管理実績と、老木化及び害虫による被害が進む現状を鑑みての来年度以降の計画について伺う。 (2) 宮野運動公園陸上競技場・野球場の使用実績と、今後の整備計画について伺う。 (3) 「富山県北方領土史料室」の来場者数はどのように推移しているのか伺う。 (4) 「富山県北方領土史料室」のテーマの内、次世代への育成とあるが、実際にどのような施策がこの史料室に組み込んであるのか伺う。 (5) 今後、県と連携し北海道以外では自治体レベルで初となったこの展示施設を、来年度どのような計画を持ち、一過性に終わらない対策を講じるのか伺う。 (6) この「富山県北方領土史料室」の活用について、当市及び新川地区の幼保小中学校への啓蒙活動は行っているのか伺う。	都市建設部長 都市建設部長 総務企画部長 総務企画部長 総務企画部長 教育部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	大辻菊美 (一括方式)	<p>1 コロナ禍での「くろベネット事業」の見守りに ついて</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症拡大により新しい生活様式となり、地域の高齢者を見守る民生委員活動にも影響を及ぼしている。現状について伺う。</p> <p>(2) 民生委員も高齢化が進む中で慢性疾患がある方も多いのではないかと思われる。感染を恐れ訪問活動に対して不安を感じているのではないか。対応について伺う。</p> <p>(3) くろベネット活動は、当初、支援する対象者に対して3、4人体制でチームを編成し支援をしていたが、支援者側の高齢化も進み支援する方が減少している。現状について伺う。</p> <p>(4) 支援者側を支援するためのICT機器がある。昨年度、黒部市社会福祉協議会、(株)日新システムズ及び国立研究開発法人情報通信研究機構が合同で簡単な操作で地域サービスとつながる「高齢者とつながるしくみ」を黒部市在住の高齢者世帯(40世帯)を対象に、ICT利活用の地域サービス創出実証実験が3か月間実施された。実証結果について伺う。</p> <p>(5) 昨年度の実証実験を踏まえて今年度の取り組みについて伺う。</p> <p>(6) ICT機器利活用は今後の高齢化が進む中で、支援者が支援しやすい環境づくりや対象者にとっては見守られているという安心感で社会とつながりやすくなる。今後の支援のあり方としてICT機器による見守りも必要と考えるが、本市としての支援について伺う。</p>	<p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市長</p>
		<p>2 コロナ禍における予防接種、及び健康診断につ いて</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行に備えるためにインフルエンザ予防接種費用の助成が行われている。インフルエンザ予防接種を受けることによって発症防止や特に重症化防止に有効とされている。例年より早くインフルエンザ予防接種を受けることができるようになったが、昨年度に比べて同時期での子どもインフルエンザ予防接種率、高齢者インフルエンザ予防接種率はどうか。また、一人でも多くの方に予防接種を受けていただくための周知啓発について伺う。</p> <p>(2) 健康診断は、医療機関健診(個別健診)と集団健診のどちらかを選択できるが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で6月から健診が再開された。人間ドック受診も7月から受けることができるようになったが、懸念されることは新型コロナウイルス感染症拡大により健診をためらう方もいらっしゃることである。健診を受けないことによって病気の早期発見が遅れたりすることもあるかと思う。対応について伺う。</p>	<p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	大辻菊美 (一括方式)	<p>3 黒部市民病院の看護師の離職者状況、及び発熱外来について</p> <p>(1) 看護師の離職者は例年に比べて増加傾向にあるのか。また、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受けているのか伺う。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症対策強化のため11月16日から市民病院の出入り口が制限され、11月24日からは発熱外来の仮設診療室用のプレハブが正面玄関横に設置された。発熱症状がある場合には事前に電話をかけてからの来院になっているが、来院して入口の体温測定で発熱が分かる場合も想定されるが、どのように対処しているのか。また、発熱外来の利用状況について伺う。</p>	<p>病院事務局長</p> <p>病院長</p>
8	高野早苗 (一問一答方式)	<p>1 人工透析について</p> <p>(1) 本市の人工透析受診者の人数と平均年齢の推移について伺います。</p> <p>(2) 一旦開始された透析は途中でやめるわけにはいかないとお聞きしています。治療方針について伺います。</p> <p>(3) コロナ禍の今、重症化リスクの高い透析患者に対してどのように対処しておられるのか伺います。</p> <p>(4) 透析患者はほとんどが在宅で、通院治療は1週間に3回、1回の所要時間は約4時間とお聞きしています。通院に際しては、自分で通院している方、家族の付き添いが必要な方、一人暮らしなど家族にお願いできない場合は介護タクシーを利用されている方もおられるようです。患者への通院支援について伺います。</p> <p>(5) 現在、市民病院では通院の透析患者のみ受け入れていると聞いています。要介護者が療養しながら透析できる施設となると市外(富山市)へ繋いでいるとのこと。透析患者の高齢化に伴い家族も高齢となり、老々介護が現状のようで、出来るだけ在宅でと思っても不安だといわれました。透析患者の介護施設の入所について伺います。</p> <p>(6) 糖尿病、糖尿病性腎症などは症状の出にくい、本人が放置しやすい病気と思います。市をあげて生活習慣病にならないように啓発、指導に一層取り組んでいくことが必要と考えますが、現在の取り組みと課題について伺います。</p>	<p>病院長</p> <p>病院長</p> <p>病院長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
8	高野早苗 (一問一答方式)	<p>1 人工透析について</p> <p>(7) 人材、看護師確保について伺います。 これまで市民病院においては、急性期医療を担う看護体制病院として、また、働き方改革に伴って看護師の増員が求められる中、慢性的な看護師不足の解消に取り組んでおられます。コロナ禍の影響で医療現場の過酷さが報道されているのを見るにつけ、看護師の確保が益々困難、且、喫緊の問題ではと危惧されます。実情と展望について伺います。</p> <p>(8) 看護師、保育士、介護士など専門職不足は当市にとっても大きな課題です。今回医療の質問をさせていただきましたので、絞って看護師確保に向けどのように考えておいでなのか市長に伺います。</p>	<p>病院長</p> <p>市長</p>
		<p>2 小学校のトイレ洋式化について</p> <p>(1) 各階ごと、及び体育館に洋式トイレが無い小学校が本市にあるのか伺います。</p> <p>(2) 地域の避難場所として公民館のみならず、小中学校の体育館が指定されています。高齢者、障がい者にとって洋式トイレはなくてはならないものです。利用するにあたっての実情と対策について伺います。</p> <p>(3) 洋式化については児童にもいろいろな意見があると思います。本当に必要としている児童が何人いるのか必要数について実情を知るために、一度アンケートをとってみたいかがでしょうか。</p> <p>(4) 本市の小学校の洋式化率は50%に達していない中で、学校によってバラツキがあります。生活習慣の向上により、住宅などが改善され、多くの子どもたちは洋式トイレでの生活をしています。一日の大半を過ごす大切な場所のトイレはやはり子どもを中心にした議論が大切だと思います。統合化の問題も控えていますが、今後の整備計画とトイレに対しての考えを伺います。</p>	<p>教育部長</p> <p>防災危機管理統括監</p> <p>教育部長</p> <p>教育長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
8	高野早苗 (一問一答方式)	<p>3 SOSの受け止め方について</p> <p>(1) 市民の困りごとと思われることにどのような窓口でどの程度の件数を受けておられるのか伺います。</p> <p>(2) SOSは悩み事解決への入口、まず、話を聞いて本当に困っていることを紐解いてあげることだと私は思います。たくさんの無料相談が市の広報に掲載されていますが、どこへ行けばよいのかわからない方への「よろず相談」についての考えを伺います。</p> <p>(3) 相談のあったSOSにどのように対処されているのか、また医療機関など関係機関とどのように連携されているのか伺います。</p> <p>(4) 学校では「SOSの出し方に関する教育」にどのように取り組んでいるのか伺います。</p>	<p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>教育長</p>

○一括方式とは
議員が質問項目すべてについて一括して質問し、市長や各部局長が一括して答弁する方式

○一問一答方式とは
議員が質問項目一問ごと(小項目)に質問し、市長や各部局長がその都度答弁する方式